

地域社会の教育力の向上

【目標】 地域社会は、地域の人々が互いに思いやり、共に助け合いながらつながりを持つ場であるとともに、子どもにとっては身近な人々から愛情や信頼、期待などに包み込まれているという感覚をはぐくみ、自身の自立に向けての力を蓄える大切な場でもあります。

そのため、大人自身が学び・知ることを楽しみ、その成果を地域社会に還元するなど地域の教育力を高める取組を推進し、地域の課題を解決するとともにその絆を強めます。

また、そうした活動を、「地域学校協働活動」にも活かせるよう支援に努めます。

※「地域学校協働活動」とは、学校、家庭、地域が連携・協働し、地域全体で子どもを健やかにはぐくむ取組

【具体的対応】

- ① 地域社会全体で子どもの学びや育ちを支える地域学校協働本部の設置を支援するなど地域学校協働活動の推進
- ② 地域学校協働活動推進員や地域コーディネーターの資質・能力の向上や、地域と学校の連携・協働に対する意識の高揚を目的とした研修会の充実
- ③ 地域住民に対して地域学校協働活動への参画を得るための啓発資料「あなたのまちをディー・アイ・ワイ」の活用を推進
- ④ 地域の中での体験活動や学習活動を行うなど、地域の特色を活かした子どもの居場所づくりを支援する「京のまなび教室」の充実
- ⑤ 地域での多様な体験活動を支援するための、企業やNPOなどと連携した「特別講師派遣事業」の推進
- ⑥ 子どもの健全育成に向け青少年関係団体など地域の関係者が参画するネットワークの充実による地域全体で子どもを包み込みはぐくむ環境づくりの推進
- ⑦ 地域のつながりや人的資源を活かした自然、伝統、文化、スポーツなどの体験活動の充実
- ⑧ 地域学校協働活動への高校生の参加を進め、郷土に誇りと愛情を持つ次代の地域づくりの担い手の育成を支援
- ⑨ NPOなど地域課題の解決に取り組む地域コミュニティを支援し、魅力ある地域づくりの推進



地域学校協働活動推進員
養成・スキルアップ講座



地域学校協働活動
「チャイルドマナー講座」



特別講師派遣事業
「防災教育」



地域ボランティア・PTA・生徒による
「あいさつ活動」



- ④ 「子どもへの読書活動支援事業」、「不登校児童生徒読書活動支援事業」や「自然体験活動事業」「地域未来塾」など、子どもが身近な場所において学習や読書、体験活動等に取り組むことができる環境の充実
- ⑤ 地域住民による声かけ（あいさつ）・見守り運動の実施など、地域全体で子どもを見守る取組の支援

人権教育の推進

【目標】 近年の社会状況の急激な変化に伴い、人権に関する新たな問題が顕在化してきており、自分と同じように他人も大切にするという態度や行動が自然に表れるような人権意識をしっかりと身に付けていくことが求められています。

そのため、人権という普遍的文化の構築を目標とした「京都市人権教育・啓発推進計画」（第2次）を踏まえ、一人一人の尊厳と人権が尊重され、だれもが自分らしく生きることのできる社会の実現に向け、生涯にわたりあらゆる場や機会を通じて、人権尊重の理念や同和問題など様々な人権問題についての正しい理解と認識を深めるとともに、実践につながる主体的な学習活動の促進に努めます。

【具体的対応】

- ① 京都市人権教育企画推進委員会による市内各地域における人権教育推進事業の効果的な推進方策についての検討を踏まえるとともに、学校、家庭、地域社会及び関係諸機関・団体などと連携・協働した総合的な取組の促進
- ② 学校、家庭、地域、職場など身近な生活の場における、様々な人権問題の解決に向けた学習活動の促進と、人権尊重を日常生活の習慣として身に付け実践する態度をはぐくむことができる取組の推進
- ③ 法の下での平等、個人の尊厳といった人権の普遍的な視点からのアプローチと、具体的な人権問題に即した個別的な視点からのアプローチを組み合わせた、人権学習の内容や方法の工夫改善
- ④ 生涯の各時期に応じた各種団体等における人権学習を充実させるため、視聴覚ライブラリー等の学習教材の整備・充実
- ⑤ 聴覚障害者及び視覚障害者社会教育指導者研修会を通じた障害のある人の自立と社会参加の促進や、自己実現に向けた学習活動の支援
- ⑥ 社会情勢の変化に伴い多様化・複雑化する人権問題の解決に向け、主体的に行動できる力を育成する人権学習の充実と社会教育関係職員及び社会教育関係団体指導者等の人権教育に関する実践力・指導力向上を図る人権研修の充実
- ⑦ 「人権教育指導者ハンドブック（社会教育編）」、「人権学習資料集（社会教育編）」等を活用した、社会教育関係職員及び社会教育関係団体指導者の資質の向上を図る研修の充実
- ⑧ いじめ・虐待・体罰・子どもの貧困について社会総がかりで取り組むための、学校、家庭、地域社会及び関係諸機関・団体などが連携・協働した取組の推進



聴覚障害者社会教育指導者研修会



- ⑥ 府立り溪少年自然の家において行う自然体験活動や集団宿泊体験活動、障害のある子どもと障害のない子どもを対象とした「みどりキャンプ」及び学校に行きにくい子どもを対象とした「ふれあい宿泊学習」の充実
- ⑦ 青少年の社会性や思いやりの心など豊かな人間性をはぐくむため、関係機関・学校等と連携・協働した体験活動やボランティア活動の充実

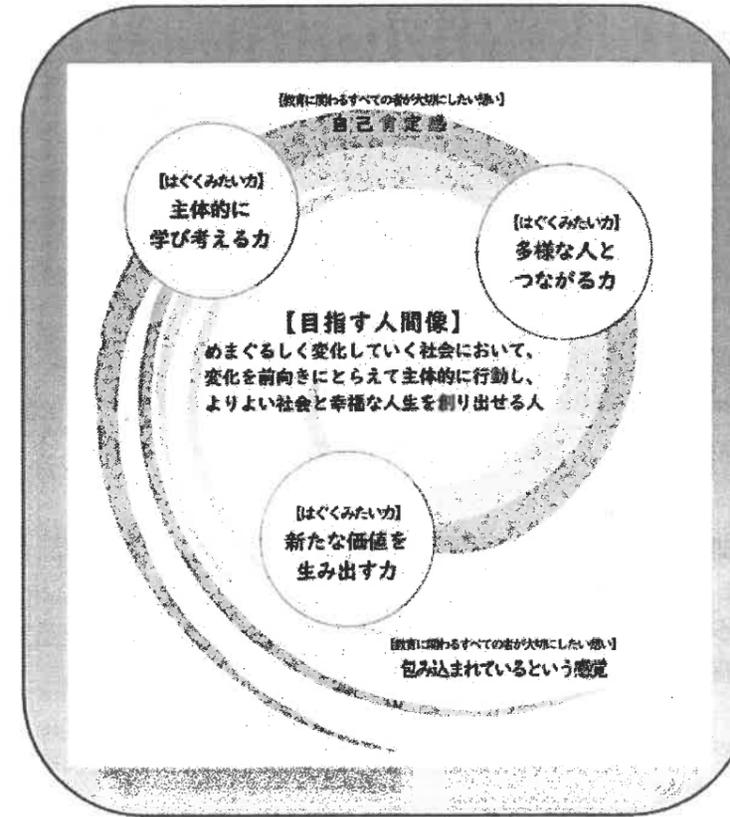
人がつながる地域づくり

子どもの貧困や人口減少など、山積する地域の課題を解決するためには、住民の主体的な参画のもと、人がつながり、お互い認め合う関係が生まれる地域づくりを進めることが重要です。京都府教育委員会では、未来につながる魅力ある地域づくりを推進しています。



学びや活動を通じた「人がつながる地域づくり」を進めることで、人と人とのつながりやお互いを認め合う絆が強まり、生き生きとした地域コミュニティが形成されていきます。また、学びの成果を地域の活動の中で積極的に活かすことにより、学びの場が充実し、「生涯学習社会」が実現していきます。

京都府の教育の基本理念



【基本理念の根幹をなす考え方】

- 教育こそが、京都府の未来を創り上げる源
- 「教育環境日本一」は、「子育て環境日本一」の実現に向けて必須の柱

施策推進の視点

- 多様な子どもたち一人一人を大切に、誰一人取り残すことなく、個性や能力を最大限伸ばす教育
- 幼児期から生涯にわたり、校種等を越えて切れ目なく学ぶことができる教育
- 学校・家庭・地域がコミュニティとしてそれぞれの強みを活かしてつながる教育

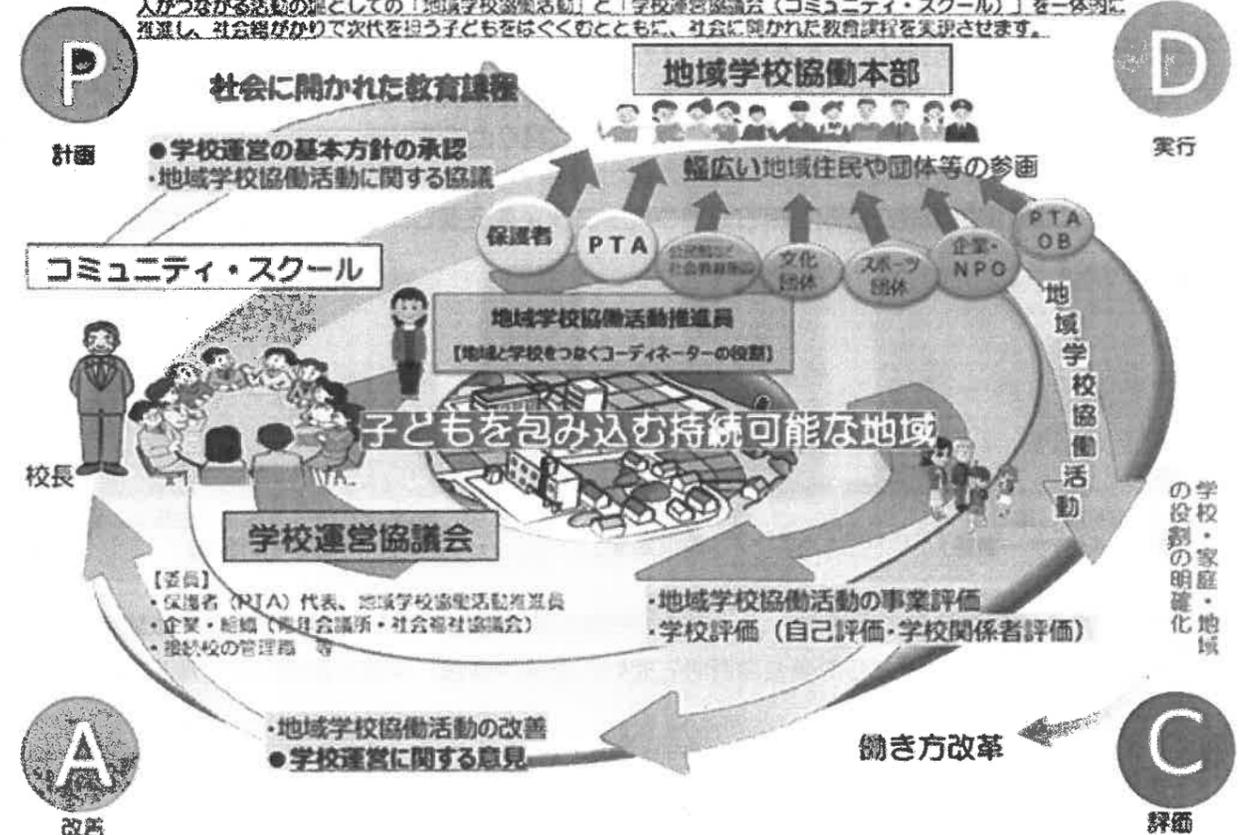
6つの推進方策

- 1 豊かな学びの創造と確かな学力の育成
- 2 豊かな人間性の育成と多様性の尊重
- 3 健やかな身体の育成
- 4 学びを支える教育環境の整備
- 5 学校・家庭・地域の連携・協働と社会教育の推進
- 6 文化振興と文化財の保存・継承・活用

ICTの積極的な活用

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

人がつながる活動の場としての「地域学校協働活動」と「学校運営協議会(コミュニティ・スクール)」を一体的に推進し、社会総がかりで次代を担う子どもを幅広くともに、社会に開かれた教育課程を実現させます。



(資料)

二次元コードでダウンロードできるファイルについて

- 1 「学校教育の重点」
 - ア 表紙の右下
 - ・「学校教育の重点」すべてのページ（A3版4枚）のPDFファイル
 - イ 推進方策6の下段
 - ・「推進方策関連のハンドブック・リーフレット等の一覧」（別紙1）のPDFファイル

- 2 「社会教育を推進するために」
 - ア 表紙の右下
 - ・「社会教育を推進するために」すべてのページ（A3版4枚）のPDFファイル
 - イ 「生涯学習の実現に向けた京都府の社会教育」のページ右下
 - ・「社会教育の活動事例」（別紙2）のPDFファイル（随時事例を増やす予定）

推進方策関連のハンドブック・リーフレット等一覧

■ 推進方策1 豊かな学びの創造と確かな学力の育成

- | | |
|---------------------------------|----------|
| ○保護者のみなさんとともに（小・中学校版） | 平成27年12月 |
| ○情報モラル教育指導資料 | 平成29年3月 |
| ○ICTを活用した個に応じた指導法の研究 | 平成31年3月 |
| ○京都府小学校プログラミング教育～育てていこう 情報活用の森～ | 令和2年3月 |
| ○カリキュラムを見直して効果を最大化する授業づくりを！ | 令和2年6月 |
| ○第8回小論文グランプリ入賞作品集 | 令和3年2月 |

■ 推進方策2 豊かな人間性の育成と多様性の尊重

- | | |
|---|----------------|
| ○人権学習資料集（小学校編ⅠⅡⅢⅣ・中学校編ⅠⅡ・高等学校編ⅠⅡ） | 平成18年3月～同31年3月 |
| ○「京の子ども 明日へのとびら」 | 平成19年4月～ |
| ○人権学習実践事例集（小学校編ⅠⅡ・中学校編・高等学校編） | 平成24年3月～令和3年3月 |
| ○ユニバーサルデザイン授業～発達障害のある子どもを含めて、どの子にもわかりやすい授業～ | 平成25年2月 |
| ○学校図書館機能充実ガイドライン | 平成27年1月 |
| ○教職員人権研修ハンドブック | 平成27年3月 |
| ○人権教育指導者ハンドブック（社会教育編） | 平成30年3月 |
| ○道徳教育の進め方 京都式ハンドブック（改訂版） | 平成30年3月 |
| ○たくましく成長する子どもたち（京都府の特別支援教育 第41集） | 平成31年3月 |
| ○特別支援学級担任のための教育課程ハンドブック（第2版） | 平成31年3月 |
| ○ICTを活用した個に応じた指導法の研究 | 平成31年3月 |
| ○人権教育指導資料－2つのアプローチから－第4版 | 令和2年3月 |
| ○京都府子どもの読書活動推進計画（第四次推進計画）～読書ではぐくむ豊かな子どもの未来～ | 令和2年3月 |
| ○京都府版 不登校児童生徒支援ハンドブック 京都府版 | 令和2年3月 |
| ○きょうとの子ども～夢・希望・笑顔のあふれる明日を創るために～ | 令和2年4月 |
| ○人権教育に関する教職員の意識調査結果報告書 | 令和2年4月 |
| ○教職員研修充実のために～人権教育に関する教職員の意識調査結果から～ | 令和2年7月 |
| ○人権教育を推進するために～人権教育に関する教職員の意識調査（2019年11月実施）結果から～ | 令和2年11月 |
| ○人権教育を推進するために | 令和3年度版 |
| ○小中学校のための学校支援セットのご案内 | 令和3年4月 |
| ○府立学校のための学校支援セットのご案内 | 令和3年4月 |
| ○京都府の特別支援教育 | 令和3年1月 |
| ○京都府の特別支援教育「まなびの道しるべ」リーフレット | 令和3年3月 |
| ○いじめの防止等のために～教職員用ハンドブック～（改訂版） | 令和3年3月 |

■ 推進方策3 健やかな身体の育成

○京の子ども元気なからだスタンダードPLUS+	平成25年3月
○運動遊びガイドブック	平成29年3月
○まゆまる体操DVD	平成29年3月
○学校等における食物アレルギー対応の手引き	平成29年3月
○運動部活動指導ハンドブック（改訂版）	令和元年9月
○令和2年度体育指導力向上研究事例報告書	令和3年3月
○京都府オリンピック・パラリンピック教育推進事業の概要Vol.6	令和3年3月
○学校等における食物アレルギー対応の手引き～まわりの児童生徒への指導及び関連法等から～	平成31年3月

■ 推進方策4 学びを支える教育環境の整備

○京都府学校安全WEB http://www.kyoto-be.ne.jp/hotai/cms/?page_id=383	
○いのちを守る『知恵』をはぐくむために～学校における安全教育の手引き～東日本大震災の教訓をふまえて	平成24年1月
○いのちを守る『知恵』をはぐくむために～学校における安全教育の手引き～東日本大震災の教訓をふまえてー原子力防災編ー	平成27年4月
○自転車セーフティーガイダンス～自転車交通安全教育指導実践資料～	平成28年2月
○京都府立学校情報セキュリティ対策基準	令和元年10月
○京都府立学校情報セキュリティ実施手順	令和2年7月
○就・修学及び進学・就職を支援するための援護制度一覧	令和3年度版

■ 推進方策5 学校・家庭・地域の連携・協働と社会教育の推進

- | | |
|---|----------|
| ○「家庭教育資料 親の学び 一人で悩まないで」(就学前用) | 平成26年度 |
| ○「家庭教育資料 親の学び 一人で悩まないで」(低学年用) | 平成27年度 |
| ○児童虐待を防止するために | 平成27年3月 |
| ○「法やルールに関する教育」ハンドブック | 平成27年3月 |
| ○「家庭教育資料 親の学び 一人で悩まないで」(中学年用) | 平成28年度 |
| ○子育て学習プログラム | 平成28年3月 |
| ○「法やルールに関する教育」実践事例集 | 平成28年3月 |
| ○「家庭教育資料 親の学び 一人で悩まないで」(高学前用) | 平成29年度 |
| ○高等学校等における主権者教育指導の手引き(改訂版) | 平成29年3月 |
| ○「家庭教育資料 みんなで食を楽しもう」 | 平成30年度 |
| ○幼児ふれあい学習プログラム | 平成30年3月 |
| ○コミュニティ・スクールで学校も地域も生き生きと! | 平成30年10月 |
| ○あなたのまちをD・I・Y | 平成31年4月 |
| ○「家庭教育資料 本はともだち?!」 | 令和元年度 |
| ○「子育て」「幼児ふれあい」学習プログラム活用事例集 | 令和元年8月 |
| ○「キャリア・パスポート」の取組をすすめるために | 令和元年9月 |
| ○子どもとネットのいい関係!~保護者にできる4つの備え~ | 令和元年12月 |
| ○コミュニティ・スクールを始めるにあたって | 令和2年3月 |
| ○NoDrug~子どもに忍び寄る違法薬物の誘い~ | 令和2年5月 |
| ○「特別講師派遣事業」を活用してみませんか? | 令和2年9月 |
| ○子どものSOSサインを見逃さないために~教職員のための児童虐待対応リーフレット~ | 令和3年3月 |
| ○結ネットKYOTO情報提供リーフレット | 令和3年3月 |
| ○家庭で話そう!スマホ・ケータイ利用のルールとマナーについて | 令和3年3月 |

■ 推進方策6 文化振興と文化財の保存・継承・活用

- | | |
|------------------------------|---------|
| ○京都タイムスリップ-遺跡でつづる京都の歴史- | |
| (京都府埋蔵文化財調査研究センター) | 平成18年3月 |
| ○京都府の史跡・遺跡ハンドブック 第1集 丹後I | 平成30年3月 |
| ○京都府の史跡・遺跡ハンドブック 第2集 丹後II | 平成31年3月 |
| ○京都府文化財保存活用大綱 | 令和2年3月 |
| ○京都府文化財保存活用大綱(概要版) | 令和2年3月 |
| ○京都府の「歴史・伝統・文化」を学ぶために・教えるために | 令和2年6月 |

府内活動事例 ～人がつながる地域づくり～

学びや活動を通じて人がつながる、府内各地で行われる取組を紹介します。

人がつながる地域づくり

子どもの貧困や人口減少など、山積する地域の課題を解決するために、住民の主体的な参画のもと、人がつながり、お互い助け合う関係が生まれる地域づくりを進めることが重要で、京都府教育委員会では、未来につながる魅力ある地域づくりを推進しています。



地域ので家庭や子どもを支える
家庭教育支援チーム「すこやか倶楽部おおみや」（京丹後市）



PTA活動や学校行事への積極的な参加を通して、学校と家庭との連携を図る
南丹市立八木東小学校PTA



PTA活動を通して、親も一緒に成長へ
京都府立網野高等学校・京都府立丹後緑風高等学校網野学舎PTA



家庭・学校・地域が連携して取り組む「早寝早起き朝ごはん」
福知山市立日新中学校

家庭教育支援チーム 「すこやか倶楽部おおみや」

家庭教育支援チーム「すこやか倶楽部おおみや」は、平成20年度から、保護者同士の絆をつなぐことを目的に、子育てサロンや交流会などを行ってきました。

また、高校生のライフプランニングの支援につながるような取組も行い、幅広い世代に関わることで、地域のネットワークづくりを目指しています。

活動拠点を置く市町村

京丹後市：人口54,484人（令和元年11月末現在）

活動範囲

京丹後市大宮町内全域

活動開始年月

平成20年4月

構成員

6人（元民生委員、消費生活指導員、社会教育委員、元保育所長、保育所職員）

活動形態

- 保護者への学びの場の提供
- 地域の居場所づくり
- 訪問型家庭教育支援
- その他（高校生と赤ちゃんの交流）

活動対象

- 乳幼児
 - 小学生（低学年）
 - 小学生（中学年）
 - 小学生（高学年）
 - 中学生
 - 高校生以上
- の子供を持つ保護者に対する活動を実施

活動の目的・趣旨

保護者同士のつながりや地域のつながりを大切にしながら、地域全体で子育てに寄り添い、見守っていく環境づくりを目指しています。



PTA活動や学校行事への積極的な参加を通して、学校と家庭との連携を図る

所在地：京都府南丹市八木町青戸馬場内13-1
全校児童数：142名

学校の特徴 平成27年4月に、南丹市立小学校再編整備により、旧神吉小学校、旧新庄小学校、旧富本小学校の3校が1つになり、開校した。「意欲をもって学び、ふるさとを愛する心豊かな児童の育成」を学校教育目標として取組を進めている。
地域の特徴 魚沼盆地の北に位置し、大堰川に沿った農村地帯及び丹波山地の山間部に開けた標高の高い地域である。地域全体で子どもの健全育成を推進している。学校の教育活動に大変協力的であり、地域の方々との結び付きは大きい。
活動内容 学校・家庭・地域と連携・協働しながら子どもたちの豊かな教育活動に向けて多くの活動をしている。地域人材を活用したPTA活動を実施し、地域の方との交流機会を積極的に設けている。

地域と共に



* 登下校時のあいさつ・声かけ運動を校区内の地域の方、民生委員、駐在所の方と協力して実施し、地域全体で児童の安全のための見守り活動をしている。また児童会発の「ハイタッチあいさつ運動」を盛り上げるために、PTAもその活動に賛同して運動を広げ、毎月の「PTA笑顔であいさつ運動」におけるハイタッチが、児童の笑顔と元気なあいさつにつながっている。

* 夏季休業中のプール開放に伴う監視活動に向けて、毎年消防署と連携をして水難救命救急法講習会を実施している。

* 地域人材を活用してPTAの活動を工夫し、地域の方々との交流の機会を積極的に設けている。

* 学校支援ボランティアのリストを作成し、地域の方々とは様々な場面でも活動を実施している。

* 元PTA本部役員や保護者代表が学校運営協議会委員として学校運営に参加し、教職員や地域代表と一緒になり、学校支援の在り方について「熱議」を積み重ねている。

〇人権日めぐりカレンダール作成

各家庭から募集した人権標語を人権委員会が中心となり、手作りの「人権日めぐりカレンダー」を作成し、各家庭で活用している。各家庭には人権標語を紹介した「心れあい新聞」を配布して、人権問題についての正しい理解と認識を深める啓蒙を行っている。



〇会員相互の学びと連携

本部役員が中心となり、学校行事の活動の支援や児童の教育環境整備に協力するとともに、保護者間の交流の機会を設けている。「PTA人権研修会」などでは、講演のテーマをもとに会員交流をし、子育てについて会員相互が学びを深めている。また、活字印刷等を発行し、活動の様子を会員で共有し連携を深めている。



成果

- ・PTA役員による積極的な学年PTA活動や専門委員会の活動内容が充実し、親子や親同士の間での共通の学びが生まれ、親子がともに学び成長する取組となっている。
- ・開校6年目に入り、よりよいPTA活動を目指して会員一人一人が協力する体制作りがなされ、そのことが学校行事への参加や、学校教育への関心の高さにつながっている。

課題

- ・PTA会員同士が子育てについて気軽に相談や交流ができる場や活動の工夫を図っていく。
- ・学校運営協議会とともに、「目指す子ども像」の共有を図り、家庭・地域・学校が一体となった取組を進めていく。

【京都府教育庁指導部社会教育課】

く〜青年は未来を信じ使命に生きる〜>

所在地：京丹後市網野町網野2820
 全校生徒数：309名

学校の特徴	昭和57年に制定された生徒信条「青年は未来を信じ使命に生きる」の精神に則り、知・徳・体・美のパランスのとれた生徒の育成を目指しています。今年度から、網野高校、久美浜高校を母体とする2つの学会(網野学会、久美浜学会)からなる京都府立丹後緑風高等学校がスタートしました。
地域の特徴	日本有数の豊かな自然と文化・歴史をもつ京都府北部の丹後半島に位置し、本年で創立72年目を迎える歴史と伝統のある学校です。また、東京オリンピック・パラリンピック教育推進校の指定を受け、スポーツを通して地域の方々との交流活動などにも取り組んでいます。
活動内容	今年度から、網野高校と学会制による丹後緑風高校との新たな活動がスタートしました。学校・家庭・地域と連携・協働を図り一丸となって環境づくりに努めている。子どもとの会話を大切にし、子どもの成長と同様に親も成長していけるよう学校行事支援や安心・安全見守り活動などを実施している。

運営体制

* 保護者、教職員の100%が加入し、本部役員、他、企画委員会、広報委員会、生活指導委員会、進路指導委員会を設置している。本部役員1名は教職員、会計1名は学校専務職員から選出され、また、専門委員会・企画委員会に教職員、進路指導部長、生徒指導部長も協力



しながら組織の運営を行っている。校長、副校長、事務部長は顧問としてすべての企画に協力し円滑化を図るため活動をサポートしている。

多くの生徒とのふれあい!!!

* 文化祭では、PTA役員を中心にPTA模擬店「PTAの極うまカレー屋さん」の調理・販売、「ハレ一部うどん屋さん」の手伝いを行った。毎年、一般会員に食材の提供を呼びかけ、提供いただいたいやがいがいも、玉ねぎ、にんじんをふんだんに使用しておいしいカレーを作っている。

* 体育祭では、熱中症対策として給水サービスと噴霧器によるミストサービスを行った。昨年度は強風による砂ほこりをおさめるためにグラウンドへの水まきに取り組んだ。



安心安全!!

* PTA交通安全指導については、年間3回、朝の登校時間帯にあわせて、最寄り京丹後鉄道網野駅から学校周辺までの登校経路の交差点5カ所にPTA役員と教員が立ち、挨拶と通学状況の観察、交通安全指導を行っている。また、学校周囲では、生徒の自転車安全利用推進員(昨年度は3学年で111名)と一緒に交通安全を呼びかけている。



成果

・各種行事への参加を通して、保護者・生徒・教職員間のつながりを強めた。
 ・生徒の活動を間近でサポートすることが、子どもたちの頑張る姿を目の当たりにする大切な機会となった。

課題

・PTA行事への参加者を増やし、進路指導や生徒指導等に関する最新の情報を家庭と学校で共有し、子どもの成長を後押しできるように努める。

